

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患政策研究事業
分担研究報告書

黄斑部毛細血管拡張症2型に関する調査研究

研究分担者

東京女子医科大学・医学部・教授 飯田 知弘
京都大学・医学研究科・教授 辻川 明孝
横浜市立大学・医学研究科・客員教授 柳 靖雄
琉球大学・大学院医学研究科・教授 古泉 英貴

研究要旨：黄斑部毛細血管拡張症 2 型は視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準がないため、厚生労働省網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班を中心として、我が国における診療ガイドラインを作成した。診療ガイドラインに基づいて第一次疫学調査を行った。

A. 研究目的

黄斑部毛細血管拡張症 2 型は視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準、診療ガイドライン、手引き等はないため、我が国における診療ガイドラインを作成し、疫学調査を行うことを目的に研究を行った。

B. 研究方法

診療ガイドラインを作成し、それに基づいた第一次疫学調査を行い患者数を確認する。

(倫理面への配慮)

診療ガイドラインの作成であるので、倫理的問題はない。

C. 研究結果

診療ガイドラインを作成し、現在、日本眼科学会雑誌に印刷中である。また診療ガイドラインに基づいた第一次疫学調査として全国 965 施設に郵送によるアンケートを行った。965 施設中 643 施設から回答があった。患者の有無に関しては、該当なし 550 件、該当あり 93 件で、患者数は合計 263 例であった。

D. 考察

診療ガイドラインを作成することにより、疫学研究や将来のデータベース化に有用

になると思われる。診療ガイドラインは学会誌に印刷中である。一次アンケート結果を検討し、今後、二次アンケートを予定している。

E. 結論

黄斑部毛細血管拡張症 2 型診療ガイドライン（第 1 版）の策定と疫学調査は黄斑部毛細血管拡張症 2 型患者の福祉向上に寄与する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究班 黄斑部毛細血管拡張症 2 型診断ガイドライン作成ワーキンググループ. 黄斑部毛細血管拡張症 2 型診療ガイドライン（第 1 版）. 日眼会誌 126 : 463-471, 2022

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし